

サブスペシャリティ重点コース

(内科専門医取得卒後 6 年目、サブスペシャリティ領域取得卒後 7 年目～)

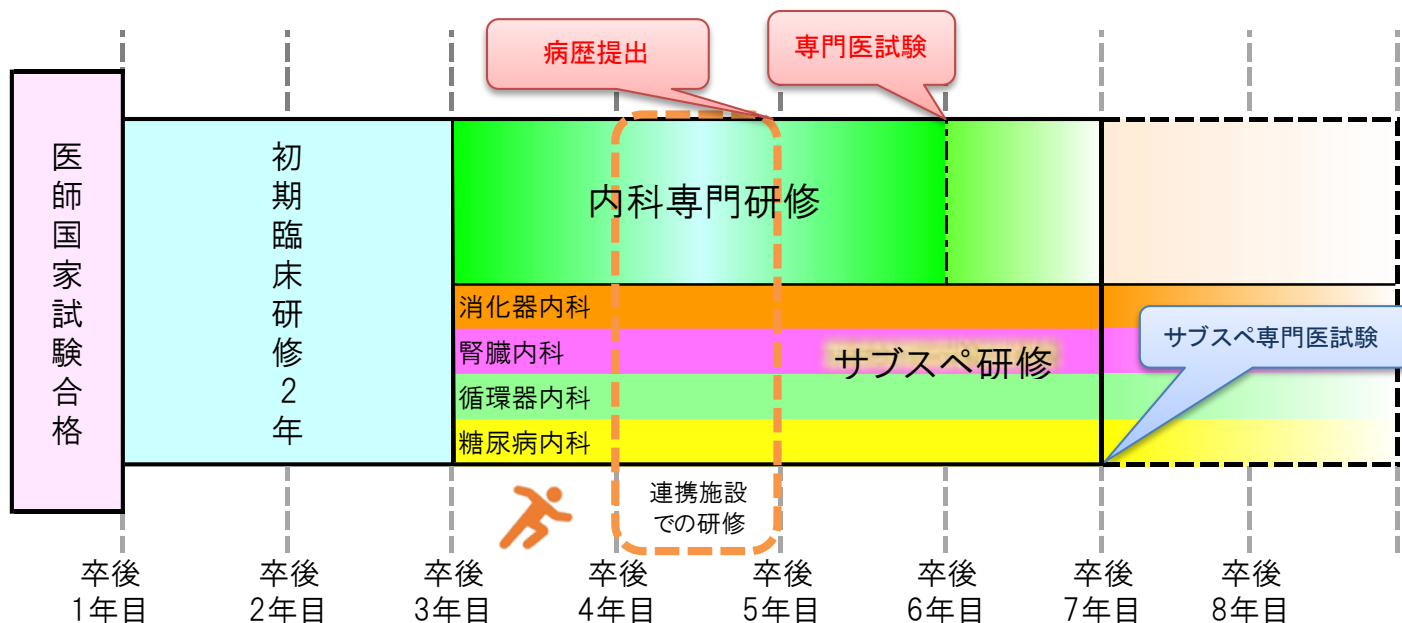


図2.プログラム概念図(subspecialty重点コース)

希望する Subspecialty を内科専門医研修と並行して研修するコースです。

【卒後 3 年目】

内科専門研修プログラムを開始し、一般内科と同時に Subspecialty の研修, トレーニングを行います。当院では消化器内科, 腎臓内科, 循環器内科, 糖尿病内科それぞれの専門医, 指導医が在籍している研修指定施設であり, これらの専門医取得のために必要な症例を, 内科専門医の症例と同時に経験することができます。特に, 消化器内科, 循環器内科等については, 内視鏡, カテーテル検査治療などの技術研修を早期から開始し, 継続して行うことができます。

【卒後 4 年目】

連携施設で, 主として 1 年目に研修できなかった内科系診療科を中心に研修します。その間も希望に応じて可能な範囲で Subspecialty の研修を継続できるように配慮します。

【卒後 5 年目】

基幹病院における当該 Subspecialty 科において内科研修を継続して Subspecialty 領域を重点的に研修するとともに, 充足していない症例を経験します。また週 1 回以上 6 ヶ月間以上の専門外来を担当します。

内科専門医の修了要件を満たした場合は、卒後 6 年目に内科専門医試験を受験します。

各学会の修了要件を満たした場合は、随時サブスペシャリティ試験が可能となります。

※指導医が認めた場合は、初期研修の 2 年間に経験した症例でも、内科専門研修プログラムの修了要件の最大 5 割 (80 症例、病歴要約 14 症例) まで、J-O-S-L-E-R (内科専攻医評価システム) への登録が可能のため、活用してください。